

1. 欧州往航 (東アジア・東南アジア→欧州)¹
 (1) 輸送量

2017年8月のコンテナ貨物輸送量は、前年比5.3%増の143.2万TEUで6か月連続のプラスとなった(表1-1及び別紙(図-1)参照)。1-8月累計では5.3%増の1,075.7万TEUで8月単月、1-8月累計共に過去最高。

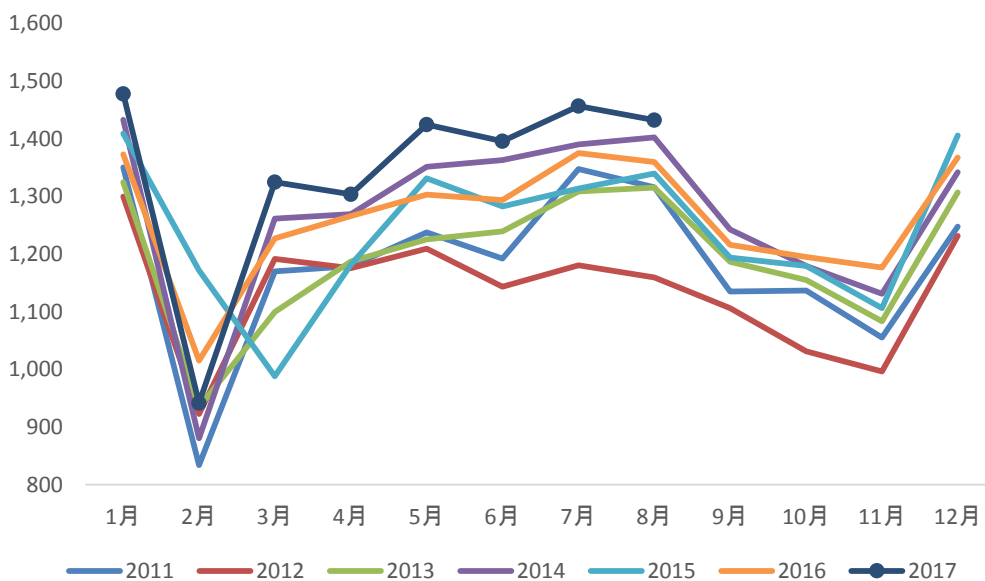
表1-1 往航輸送量

単位:千TEU

	往航							
	2016年				2017年			
	単月	前年比 (%)	累計	前年比 (%)	単月	前年比 (%)	累計	前年比 (%)
1月	1,373	▲ 3.4	1,373	▲ 2.5	1,478	7.7	1,478	7.7
2月	1,015	33.3	2,388	▲ 7.4	941	▲ 7.3	2,419	1.3
3月	1,227	▲ 22.1	3,615	1.3	1,325	8.0	3,744	3.6
4月	1,266	▲ 7.9	4,881	2.8	1,304	3.0	5,048	3.4
5月	1,303	▲ 2.7	6,184	1.7	1,425	9.3	6,472	4.7
6月	1,293	▲ 7.1	7,477	1.5	1,396	7.9	7,868	5.2
7月	1,375	▲ 6.9	8,853	2.0	1,456	5.9	9,325	5.3
8月	1,360	▲ 6.2	10,212	2.0	1,432	5.3	10,757	5.3
9月	1,216	▲ 5.8	11,428	1.9				
10月	1,195	▲ 1.8	12,623	1.9				
11月	1,177	▲ 3.9	13,800	2.3				
12月	1,367	2.5	15,167	1.8				
計	15,167	▲ 3.7						

出所:CTS社

図 1-1 年別荷動き量



出所:CTS社

¹ この資料で用いる輸送量などの数値は Container Trades Statistics 社が発表したデータ (速報値) を使用している。

(2) 地域別輸送量

中国地域積みは前年比 4.5%増となる 108.3 万 TEU、北東アジア積みは 3.0%増となる 14.9 万 TEU、東南アジア積みは 11.9%増となる 20.0 万 TEU となっている。

表1-2 地域別荷動き量(仕出地側) 単位:千TEU

	中国	前年比 (%)	北東アジア	前年比 (%)	東南アジア	前年比 (%)
1月	1,127	9.2	152	1.6	199	4.2
2月	622	▲ 12.3	144	1.7	175	7.0
3月	946	10.3	174	4.4	205	0.8
4月	953	2.9	165	0.5	186	5.8
5月	1,064	10.6	161	6.3	199	5.4
6月	1,039	8.9	161	4.4	196	5.7
7月	1,083	3.6	165	3.9	209	21.4
8月	1,083	4.5	149	3.0	200	11.9
9月						
10月						
11月						
12月						
		構成比		構成比		構成比
2013年計	10,654	74.3	1,825	12.7	1,868	13.0
2014年計	11,460	74.5	1,919	12.5	2,006	13.0
2015年計	10,807	72.5	1,959	13.1	2,135	14.3
2016年計	11,159	73.3	1,818	12.7	2,190	14.0

出所:CTS社

※1. 地域分類は以下のとおり。

中国:中国本土、香港、モンゴル

北東アジア:日本、韓国、台湾、極東ロシア

東南アジア:ブルネイ、インドネシア、カンボジア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム

※2. 上記数値には、“その他のアジア”を含まない。

※3. 2016年以前の数値には、モンゴル、極東ロシアを含まない。

西欧・北欧州揚げは前年比 3.4%増の 90.8 万 TEU、地中海東部・黒海沿岸揚げは 7.2%増の 26.9 万 TEU、地中海西部・北アフリカ揚げは 10.8%増の 25.5 万 TEU となっている。

表1-3 地域別荷動き量(仕向地側) 単位:千TEU

	西欧・北欧	前年比 (%)	地中海東部 黒海	前年比 (%)	地中海西部 北アフリカ	前年比 (%)
1月	953	7.9	259	8.0	266	6.6
2月	597	▲ 5.2	179	▲ 13.1	166	▲ 7.9
3月	828	9.1	260	4.2	236	8.2
4月	794	2.0	261	2.3	249	7.0
5月	882	8.2	285	17.4	257	5.2
6月	872	8.2	272	8.8	252	6.0
7月	940	5.3	275	10.6	241	3.1
8月	908	3.4	269	7.2	255	10.8
9月						
10月						
11月						
12月						
2013年計	9,361		2,556		2,430	
2014年計	10,119	8.1	2,648	3.6	2,618	7.7
2015年計	9,692	▲ 4.2	2,646	▲ 0.1	2,564	▲ 2.1
2016年計	9,605	▲ 0.9	2,876	8.7	2,686	4.8

出所:CTS社

表1-4 EUおよびユーロ圏向け荷動き量 単位:千TEU

EU ※	前年比 (%)	ユーロ圏※	前年比 (%)
1,179	7.7	831	6.9
737	▲ 6.1	526	▲ 6.4
1,025	8.1	713	6.6
1,009	2.7	707	1.1
1,103	8.2	765	6.4
1,085	7.7	754	6.5
1,155	6.6	793	6.4
1,144	5.9	781	5.7
11,110		8,106	
11,834	6.5	8,408	3.7
11,650	▲ 1.6	8,181	▲ 2.8
11,897	2.1	8,314	1.6

※EU28か国およびユーロ圏19か国のうち、ルクセンブルクを除いた国について集計している

2. 欧州復航（欧州→東アジア・東南アジア）

(1) 輸送量

2017年8月の輸送量は、前年比4.0%増の63.5万TEUで2か月連続のプラスとなった（表2-1及び別紙(図-2)参照）。1-8月累計では6.7%増の520.9万TEUで8月単月、1-8月累計共に過去最高。

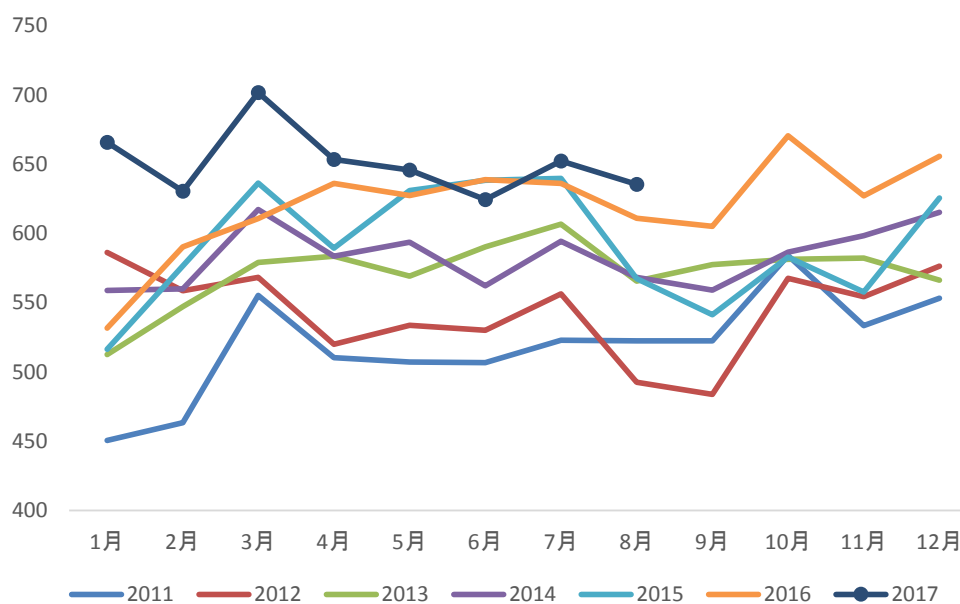
表2-1 復航輸送量

単位:千TEU

	復航				復航			
	2016年		2017年		2016年		2017年	
	単月	前年比 (%)	累計	前年比 (%)	単月	前年比 (%)	累計	前年比 (%)
1月	532	2.9	532	2.9	666	25.2	666	25.2
2月	590	2.3	1,122	2.6	631	6.8	1,296	15.6
3月	611	▲ 4.0	1,732	0.2	702	14.9	1,998	15.3
4月	636	7.9	2,369	2.1	653	2.7	2,652	11.9
5月	627	▲ 0.5	2,996	1.6	646	2.9	3,297	10.0
6月	639	0.1	3,635	1.3	624	▲ 2.3	3,922	7.9
7月	636	▲ 0.5	4,271	1.0	652	2.5	4,574	7.1
8月	611	7.7	4,882	1.8	635	4.0	5,209	6.7
9月	605	11.8	5,487	2.8				
10月	670	15.0	6,158	4.0				
11月	627	12.5	6,785	4.8				
12月	656	4.8	7,441	4.8				
計	7,441	4.8						

出所:CTS社

図 2-1 年別荷動き量



出所:CTS社

(2) 地域別輸送量

西欧・北欧積みは4.6%増の43.7万TEU、地中海東部・黒海積みは8.6%増の11.1万TEU、地中海西部・北アフリカ積みは4.1%減の8.8万TEUなどとなっている。

表2-2 地域別荷動き量(仕出地側)

単位:千TEU

	西欧・北欧	前年比 (%)	地中海東部 黒海	前年比 (%)	地中海西部 北アフリカ	前年比 (%)
1月	468	25.8	93	14.7	105	33.2
2月	427	1.0	91	20.1	112	22.7
3月	484	12.7	104	21.8	113	18.5
4月	442	▲ 1.1	110	17.5	102	5.9
5月	428	▲ 1.7	111	14.9	108	11.9
6月	418	▲ 7.5	107	16.2	99	4.6
7月	447	1.6	97	1.8	109	7.1
8月	437	4.6	111	8.6	88	▲ 4.1
9月						
10月						
11月						
12月						
2013年計	4,730		1,093		1,039	
2014年計	4,768	69.6	1,032	15.1	1,054	15.4
2015年計	4,795	69.2	1,001	14.4	1,133	16.4
2016年計	5,158	73.8	1,139	16.3	1,144	16.4

出所:CTS社

表3 EUおよびユーロ圏向け荷動き量単位:千TEU

EU ※	前年比 (%)	ユーロ圏※	前年比 (%)
572	26.9	458	29.9
547	6.7	432	8.4
605	14.9	480	16.3
557	2.7	443	3.6
552	4.4	434	5.0
534	▲ 2.1	416	▲ 3.5
569	3.7	454	5.0
535	4.1	417	4.2
5,754		4,500	
5,786	84.4	4,567	66.6
5,948	85.8	4,686	67.6
6,330	90.5	4,959	70.9

※EU28か国およびユーロ圏19か国のうち、ルクセンブルクを除いた国について集計している

中国地域揚げは前年比2.2%増となる36.9万TEU、北東アジア揚げは1.6%増となる12.0万TEU、東南アジア揚げは10.9%増となる14.6万TEUと全方面ともプラスとなった。

表2-4 地域別荷動き量(仕向地側)

単位:千TEU

	中国	前年比 (%)	北東アジア	前年比 (%)	東南アジア	前年比 (%)
1月	409	28.8	122	17.8	134	22.0
2月	385	11.0	119	1.0	127	0.8
3月	427	18.1	135	13.6	140	7.2
4月	370	▲ 2.0	138	9.5	146	9.8
5月	380	▲ 0.4	134	9.5	131	6.6
6月	373	▲ 1.9	123	▲ 3.2	129	▲ 2.5
7月	388	3.6	129	1.7	136	0.4
8月	369	2.2	120	1.6	146	10.9
9月						
10月						
11月						
12月						
		構成比		構成比		構成比
2013年計	3,835	55.9	1,548	22.6	1,470	21.4
2014年計	3,928	57.3	1,487	21.7	1,431	20.9
2015年計	3,916	56.5	1,545	22.3	1,465	21.1
2016年計	4,389	58.8	1,474	20.5	1,577	20.6

出所:CTS社

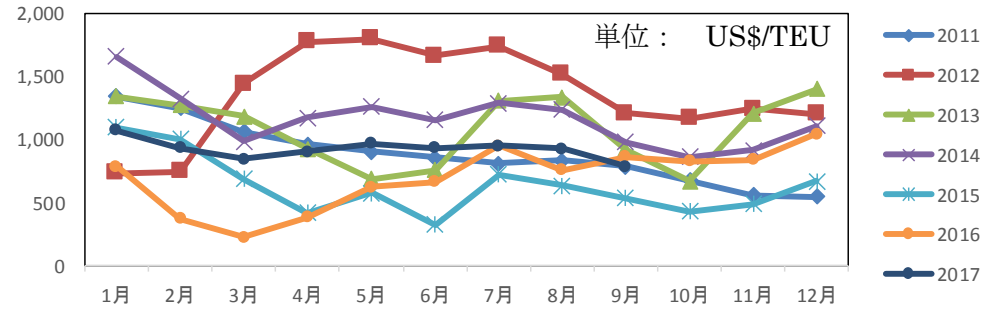
- ※1. 地域分類などは往航と同じ。
- ※2. 上記数値には、“その他のアジア”を含まない。
- ※3. 2016年以前の数値には、モンゴル、極東ロシアを含まない。

3. 欧州航路運賃

(1) 往航：

上海航運交易所発表の上海-欧州間のスポット運賃（発着地の THC を含まない）によると、9月の運賃は783US\$/TEUで、6か月ぶりに900US\$/TEUを下回った。

図表 3-1：欧州往航（上海→欧州）の月別運賃推移



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	期間平均
2015	1,098	999	683	414	576	321	721	633	530	428	483	668	682
2016	784	372	223	380	622	660	950	755	864	825	836	1,040	507
2017	1,074	929	841	901	965	929	948	927	783				940

出所：上海航運交易所

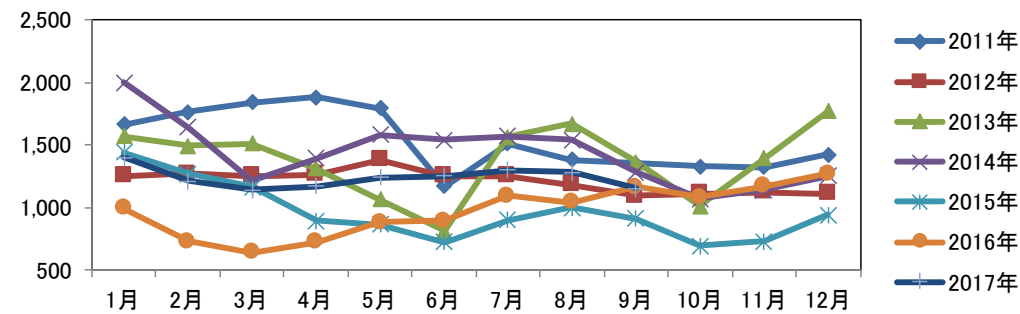
※2017年9月の数値は、直近9/8までの運賃を示す。

※地中海揚げげは含まれない（以下のグラフ同じ）

※THC：Terminal Handling Charge

Drewry 発表の欧州往航の運賃（塩田→フェリックスストウ間、発着地の THC を含む）によると、9月の運賃は1,280\$/TEUで、5か月ぶりに下落した（図表 3-2 参照）。

図表 3-2 欧州航路往航運賃（塩田→フェリックスストウ）



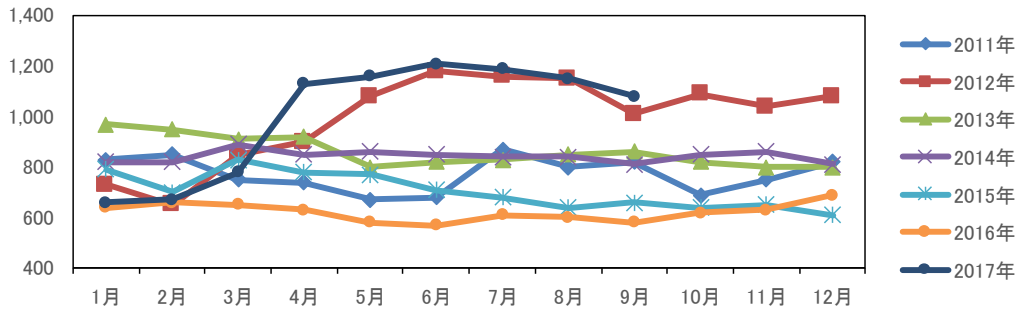
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	期間平均
2015	20ft	1,440	1,270	1,160	890	860	720	900	1,000	910	690	730	940	1,124
	40ft	2,500	2,200	1,900	1,360	1,360	1,060	1,290	1,450	1,360	1,010	1,040	1,410	1,864
2016	20ft	990	730	640	720	880	890	1,090	1,040	1,160	1,080	1,170	1,270	792
	40ft	1,560	980	800	970	1,370	1,380	1,760	1,680	1,910	1,760	1,950	2,130	1,136
2017	20ft	1,400	1,210	1,140	1,170	1,240	1,250	1,300	1,280	1,150				1,238
	40ft	2,380	2,050	1,900	1,970	2,040	2,080	2,170	2,120	1,890				2,067

出所：Drewry “Container Freight Rate Insight”

(2) 復航

Drewry 発表の欧州復航運賃（フェリックストウ→塩田間、発着地の THC を含む）によると、9月の運賃は1,080US\$/TEU で、6か月連続で1,000US\$/TEU を超えている。（図表3-3 参照）。

図表 3-3 欧州航路復航運賃（フェリックストウ→塩田）



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	期間平均
2015	20ft	790	700	830	780	770	710	680	640	660	640	650	610	774
	40ft	1,040	930	1,080	1,020	1,000	930	930	870	890	840	870	790	1,014
2016	20ft	640	660	650	630	580	570	610	600	580	620	630	690	632
	40ft	840	850	850	800	750	750	780	800	790	820	850	900	818
2017	20ft	660	670	780	1,130	1,160	1,210	1,190	1,150	1,080				1,003
	40ft	900	910	1,000	1,380	1,440	1,520	1,480	1,400	1,330				1,262

出所：Drewry “Container Freight Rate Insight”

参考表：日本・欧州間のコンテナ貨物輸送量(2014-17年)

単位：TEU

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
2014	往航	49,218	47,194	54,354	48,091	42,324	44,851	46,266	41,718	42,579	43,454	37,703	45,875	543,627
	復航	66,595	69,039	74,991	60,002	58,374	55,631	56,734	53,701	54,140	54,618	49,588	56,842	710,255
2015	往航	42,360	43,626	46,920	44,700	42,654	45,611	45,509	43,924	42,748	44,410	38,887	49,825	531,174
	復航	51,597	53,615	61,660	59,125	57,854	59,080	62,660	54,316	55,054	59,547	52,059	64,126	690,693
2016	往航	32,667	39,253	41,037	41,967	33,472	35,937	38,652	32,879	34,153	36,295	32,762	42,148	505,097
	復航	47,874	54,167	54,984	58,318	55,505	57,831	56,516	51,108	56,209	58,315	51,752	59,975	662,554
2017	往航	29,755	35,496	41,124	40,122	33,836	36,901	33,948	31,568					282,750
	復航	51,443	51,038	59,364	58,524	59,246	54,173	56,766	52,556					443,110
前年比														
2017	往航	▲ 8.9	▲ 9.6	0.2	▲ 4.4	1.1	2.7	▲ 12.2						
	復航	7.5	▲ 5.8	8.0	0.4	6.7	▲ 6.3	0.4						

出所：CTS 社

4. EUROSTAT を用いた 2017 年 8 月海上輸送品目統計 (EU28 か国ー中国間)

(1) 輸入：中国発欧州揚げ (EU 側通関ベース)

2017年8月EU28か国：中国からの輸入実績（海上輸送品目のみ、EU側通関ベース 注3）

NO. ^{注2}	HS コー ド ^{注1}	品目名	2017年8月						2017年1-8月累計			
			輸入量(1000t)			輸入額(100万€)			輸入量(1000t)		輸入額(100万€)	
				前年比	シェア		前年比	シェア		前年比	前年比	
1	84	機械類	472	12.2	10.8%	3,250	5.2	16.2%	3,978	7.9	25,872	2.5
2	94	家具、寝具など	319	8.0	7.3%	1,250	3.5	6.2%	2,634	4.0	10,303	5.6
3	85	電気機器、AV機器など	336	5.0	7.7%	3,632	7.4	18.1%	2,520	▲ 5.4	27,511	7.1
4	73	鉄鋼製品	320	14.8	7.3%	644	10.6	3.2%	2,499	4.4	5,169	7.4
5	50	繊維類及びその製品	368	6.8	8.4%	3,000	▲ 3.8	15.0%	2,307	2.3	17,549	▲ 2.4
6	68	石材、セメント製品など	260	4.0	5.9%	107	5.1	0.5%	1,792	0.9	817	7.2
7	39	プラスチック及びその製品	232	15.0	5.3%	693	10.6	3.5%	1,758	6.1	5,465	8.5
8	29	有機化学品	162	16.0	3.7%	513	9.1	2.6%	1,277	6.2	4,630	13.8
9	87	自動車部品など	134	14.4	3.1%	523	13.2	2.6%	995	7.2	4,163	13.7
10	78	卑金属及びその製品	132	9.8	3.0%	553	6.6	2.8%	972	3.0	4,330	6.8
11	95	玩具、遊戯用具、スポーツ用品	147	5.8	3.4%	1,283	20.5	6.4%	968	5.1	6,935	19.1
12	44	木材	135	26.7	3.1%	218	4.6	1.1%	938	▲ 3.9	1,649	2.4
13	40	ゴム及びその製品	128	14.0	2.9%	352	17.5	1.8%	869	9.2	2,429	13.2
14	70	ガラス及びその製品	111	8.5	2.5%	170	2.0	0.8%	834	3.9	1,345	4.7
15	25	塩、硫黄、土石類、石灰及びセメントなど	92	▲ 8.8	2.1%	27	▲ 7.0	0.1%	775	4.1	229	4.8
16	64	履物、帽子、傘、つえ、調製羽毛など	111	5.3	2.5%	946	▲ 0.5	4.7%	757	▲ 0.9	6,200	▲ 0.5
17	69	陶磁製品	97	5.3	2.2%	131	3.6	0.7%	701	2.5	935	3.7
18	28	無機化学品及び貴金属、希土類金属	89	16.0	2.0%	115	22.1	0.6%	687	1.4	835	14.5
19	6	野菜、穀物、果実、採油用種子、茶など	77	▲ 1.9	1.8%	144	▲ 11.9	0.7%	674	▲ 0.1	1,361	1.4
20	47	木材パルプ、古紙、板紙など	103	4.2	2.4%	281	▲ 0.4	1.4%	646	▲ 7.7	1,750	1.1
		上位20品目合計	3,822	9.3	87.4%	17,832	5.2	88.9%	28,580	2.9	129,476	5.2
		TOTAL	4,372	10.2	100.0%	20,047	5.2	100.0%	32,535	2.4	146,354	5.4

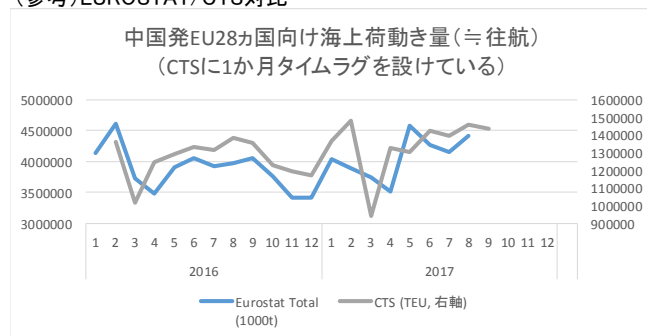
出所：EUROSTATをもとに(公財)日本海事センター作成

注1 HSコード27「原油および石油製品」、HSコード72「鉄鋼」、およびHSコード8702～8705「完成車」は上記海上輸送品目から除外している。

注2 重量ベース(累計)の順位に基づく。

注3 EUROSTAT集計に基づく通関ベースのデータのため、船の発着を基準とするCTSのデータとはタイムラグが生じる(以下グラフ参照)

(参考)EUROSTAT/CTS対比



(2) 輸出：欧州発中国揚げ（EU側通関ベース）

2017年8月EU28か国：中国への輸出実績（海上輸送品目のみ、EU側通関ベース※注3）

NO. ^{注2}	HSコード	品目名	2017年8月						2017年1-8月累計			
			輸出量(1000t)			輸出額(100万€)			輸出量(1000t)		輸出額(100万€)	
			前年比	シェア	前年比	シェア	前年比	前年比	前年比	前年比		
1	47	木材パルプ、古紙、板紙など	709	▲ 22.6	26.4%	252	0.7	3.6%	7,414	2.3	2,339	22.7
2	44	木材	311	62.2	11.6%	104	55.7	1.5%	3,426	33.6	1,081	44.0
3	39	プラスチック及びその製品	216	▲ 4.6	8.0%	363	4.0	5.2%	1,831	▲ 3.6	3,099	9.4
4	25	塩、硫黄、土石類、石灰及びセメントなど	207	11.6	7.7%	50	33.2	0.7%	1,759	19.5	394	35.7
5	1	肉及び食用のくず肉、酪農品、魚介類など	200	▲ 13.3	7.4%	307	▲ 11.4	4.4%	1,585	▲ 20.2	2,536	▲ 14.9
6	16	調製食料品、飲料、アルコール、食酢など	126	16.0	4.7%	389	18.8	5.6%	1,151	16.6	3,212	26.4
7	26	珪石、スラグ及び灰	108	▲ 7.4	4.0%	95	18.3	1.4%	959	6.4	825	52.5
8	84	機械類	96	27.0	3.6%	1,779	21.4	25.6%	792	14.1	14,200	13.7
9	74	銅及びその製品	76	16.7	2.8%	279	65.8	4.0%	722	18.8	2,293	52.0
10	29	有機化学品	72	▲ 12.0	2.7%	143	▲ 2.7	2.1%	578	24.7	1,216	15.6
11	87	自動車部品など	62	▲ 12.0	2.3%	792	18.6	11.4%	498	2.9	6,151	6.4
12	31	肥料	68	194.1	2.5%	23	174.9	0.3%	344	10.3	124	▲ 9.5
13	50	繊維類及びその製品	30	5.4	1.1%	104	▲ 3.2	1.5%	287	5.0	992	0.3
14	73	鉄鋼製品	32	23.3	1.2%	161	11.3	2.3%	249	4.1	1,306	2.4
15	38	各種の化学工業生産品	29	15.3	1.1%	105	8.8	1.5%	247	13.6	993	14.7
16	6	野菜、穀物、果実、採油用種子、茶など	74	▲ 5.6	2.8%	42	▲ 4.1	0.6%	234	▲ 69.2	277	▲ 23.5
17	41	皮革及び毛皮並びにこれらの製品など	20	1.0	0.8%	41	2.5	0.6%	229	9.0	413	4.7
18	34	石けん、有機界面活性剤、調製潤滑剤、ろう等	25	6.3	0.9%	68	11.2	1.0%	215	14.6	584	16.1
19	40	ゴム及びその製品	24	▲ 9.1	0.9%	105	▲ 4.2	1.5%	209	2.0	935	12.9
20	85	電気機器、AV機器など	21	▲ 14.6	0.8%	625	1.5	9.0%	203	10.1	5,108	11.7
		上位20品目合計	2,505	▲ 0.9	93.2%	5,827	13.5	83.9%	22,931	4.7	48,077	12.9
		TOTAL	2,688	▲ 0.3	100.0%	6,942	12.4	100.0%	24,542	5.4	57,580	11.8

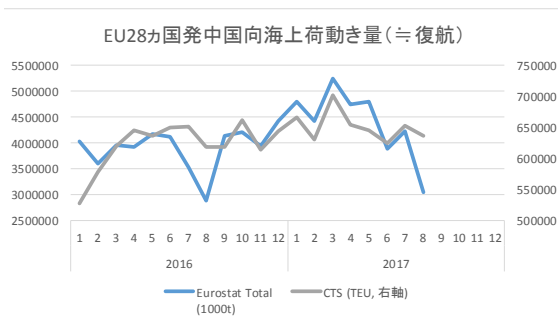
出所：EUROSTATをもとに（公財）日本海事センター作成

注1 HSコード27「原油および石油製品」、HSコード72「鉄鋼」、およびHSコード8702～8705「完成車」は上記海上輸送品目から除外している。

注2 重量ベースに基づく順位となっている。

注3 EUROSTAT集計に基づく通関ベースのデータのため、船の発着を基準とするCTSのデータとはタイムラグが生じている（以下グラフ参照）

（参考）EUROSTAT/CTS対比



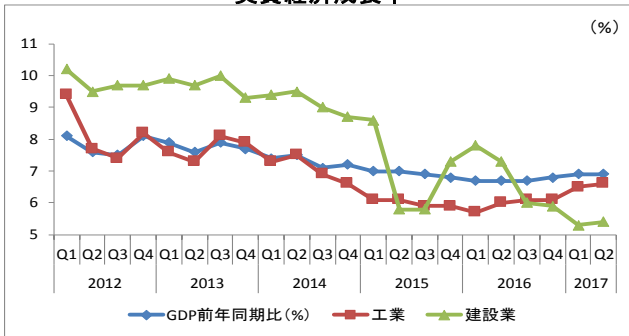
(参考) 荷動きに関連する欧州および中国の主要経済指標

2017年10月作成 中国経済: やや回復か

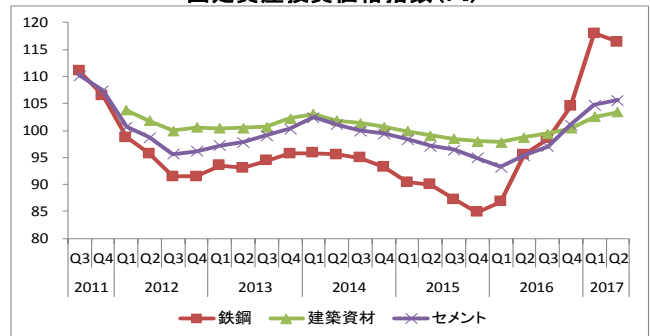
- ◆GDPは緩やかながら上昇基調。2017年第1四半期のGDPは6.9%で横ばい（速報値）。工業生産は2016年第1四半期を底に5四半期連続で増加。建設業は5四半期ぶりのプラスに。
- ◆2017年の住宅建設及び建設着工床面積は、2016年を上回るペースを維持。
- ◆2014年夏以降減少していたPMI（製造業および非製造業購買担当者景気指数）は、2016年以降上昇基調。
- ◆2016年の価格指数は、非農産物、農産物ともに上昇基調。特に工業製品の伸びは高い。

データ出所：中国国家統計局

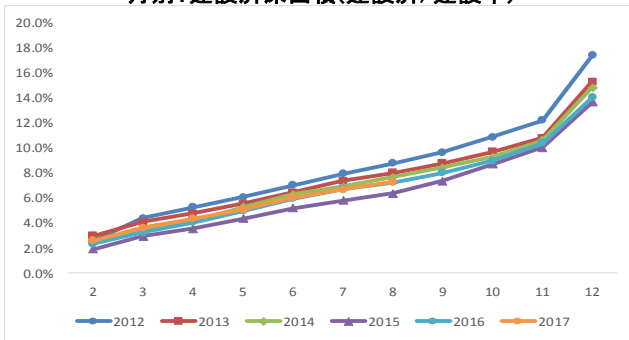
実質経済成長率



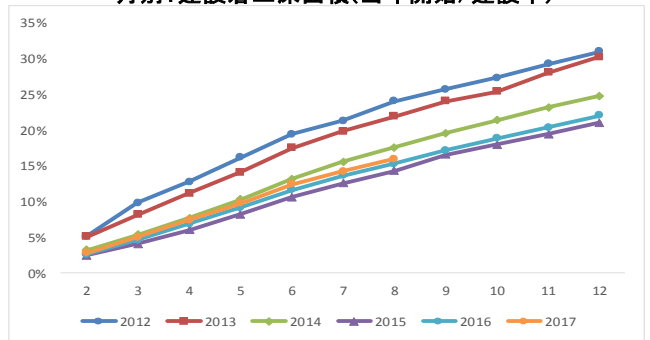
固定資産投資価格指数 (PI)



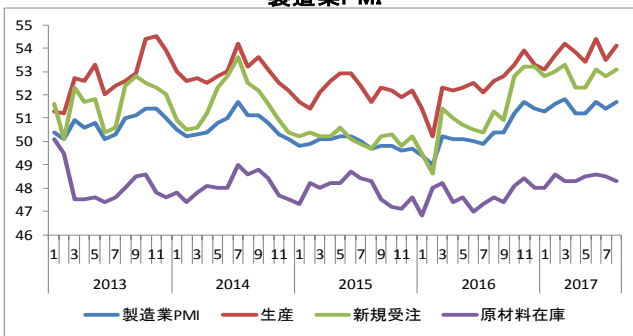
月別: 建設済床面積(建設済/建設中)



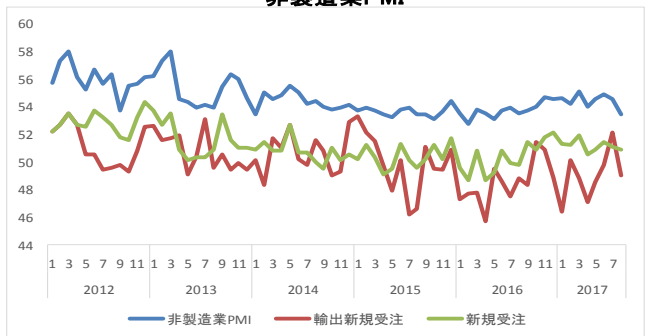
月別: 建設着工床面積(当年開始/建設中)



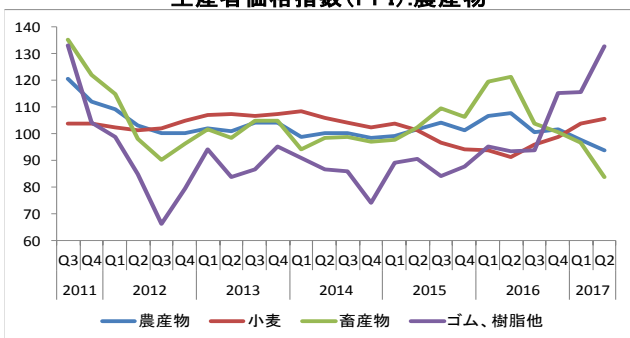
製造業PMI



非製造業PMI



生産者価格指数 (PPI): 農産物



2017年10月作成 欧州経済: 緩やかな成長

- ◆EU28カ国およびユーロ圏18か国のGDPは緩やかな成長を維持。消費者物価指数は2016年3月を底に回復基調。
- ◆失業率は欧州全体は低下傾向が続く。
- ◆2016年以降、欧州の製造業生産指数は回復基調を維持。
- ◆原油価格は2016年以降上昇傾向にあったが、2017年はやや緩やかな上昇傾向にある。
- ◆2017年に入りポンド、ユーロとも上昇傾向を示す。

出所:EUROSTAT

